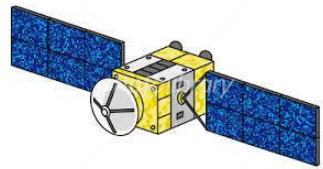


八多小学校だより

平成30年度
7月号
神戸市立八多小学校



じっくり時間をかけて



1学期最後の7月を迎えました。時折激しい雨が降りますが、晴れた日には、まぶしい日差しとそれに照らされた木々の緑が、夏が近づいていることを知らせてくれています。

6月は、いろいろすばらしいことが起きました。まず、6月19日(火)「日本はアジアのチームとしてワールドカップで初めて南米チームを破った」など、世界中で話題になったFIFAワールドカップ。グループHでの日本とコロンビアのサッカーの試合では、サッカーの苦手な私でも、興味を持ってテレビの前に座り続けることができました。何事にも一生懸命取り組んで、全力で戦っている人たちの姿は、勝ち負けだけでなく、私たちに感動を与えてくれたと思います。そしてひとつひとつのプレーが、またチームの皆さんが輝いていました。

6月の最終週には、2014年12月3日に打ち上げられた「はやぶさ2」が、いよいよ小惑星Ryugu(リュウグウ)に近づくとニュースがありました。幼いころから、宇宙と電車が大好きな私にとって、このニュースには心を奪われました。

はやぶさ2やRyugu(リュウグウ)を調べてみたくなり、久しぶりに百科事典を開いたり、インターネットで「はやぶさ2」に関することを調べたりしました。すると、あっという間に時間が過ぎて空が、白んでいました。好きな事にじっくりと打ち込むことの楽しさを、思い出させてくれた1日でした。

いよいよ、夏休みが近付いてきます。子供たちは、とても楽しみにしていることでしょう。日々の生活の中で何気なく興味を持ったことについて時間をかけて調べたり、体力をつけるために好きなスポーツにとことん打ち込んだりできる、良い機会だと思います。自由な時間を大切に、一回り大きく成長した子供たちに2学期出会えることを、楽しみにしています。

そこで、やりたいことをやりつくすためにも、健康な体が必要です。そしてそのためには、規則正しい生活習慣が大切です。

学校でも夏休みの過ごし方や交通安全など指導をしますが、ご家庭でももう一度、学年だよりや夏休みのくらしを利用して、暮らし方や交通安全についてご確認していただけるとありがたいです。よろしくお願い致します。



教頭 濱野 正英

自然学校 現地で行ったこと

「楽しく一緒に学習しよう ～助け合い 協力～」について

5月17日(木)～21日(月)に5年生は自然学校に行きました。保護者の皆様におかれましては、事前の準備からお見送り、お出迎え等、多くのご支援をいただきました。あらためましてお礼申し上げます。この行事を通して、子どもたちの様子について紹介します。

5年生最大の行事「自然学校」。不安もあったでしょうが、子どもたちは「早く行きたい。」と期待に胸ふくらませていました。今年度も八多小学校だけでなく、大沢小学校との合同開催となりました。その自然学校の目標は、「楽しく一緒に学習しよう ～助け合い 協力～」です。そのため事前に給食交流会も行われ、交流が深められるようプログラムを組みました。日々のプログラムに取り組む中で子どもたちの様相が変わってきました。最終日の日記にその様子が表れています。

○おもちはすごくおいしくて、みんなに人気でした。最後の一個はじゃんけんでとることにしました。勝ったけど、結局ちぎって全員食べることができました。最後の日に、また一歩大沢の子と仲良くなれました。

○先生もおもちが食べたかったですか。(←そうだね。)最後の楽しみも協力が必要でした。おもちつきでだんだん「や!ほ!へ!」が速くなるからです。五日間の自然学校を終えて、協力はとても大切だと感じました。もっと友達を大切にします。

○今日は自然学校の最終日…。すごくさびしいけれど、今日まですごく楽しかった。はじめはこんなに不自由なものだとは思いませんでした。そのため、みんなと協力しないといけないことを知った。とくに二日目。登山はすごく大変だった。でも、みんなと声をかけ合いながら登ったから、山頂に着けた。すごくうれしかった。



自然学校のプログラムに取り組む中で、お互いが声をかけ合い「こうしようね。」と話し合いがあったはずです。「助け合い・協力」は、こうして培われるものだと思います。この学びを学校生活、そして来年度の修学旅行、冬季野外活動でも生かしてほしいと思います。

5年担任 岩本 幸剛